

第8章 家計部門でいま起こっていること

1. 景気循環と家計部門

(1) 増えない雇用者報酬

過去の景気回復局面の特徴

1990年代半ば頃まで

企業収益が持ち直すとやや遅れて名目賃金も増加に転じる傾向

1990年代半ば以降

企業収益の回復がなかなか家計所得の増加に結びつきにくい

(2) 業績に応じた賃金体系への転換が進む

人件費の抑制

() から () を重視した
新しい賃金システムへの転換

企業

() のウェイト増大

(3) 賃金デフレを冷静に受け止める家計部門

家計部門

景気回復期 所得の減少・伸び悩みにもかかわらず、消費者マインドが上向き

実際の家計消費も物価下落を考慮した実質ベースで底堅く推移

所得の減少ないし伸び悩みはやむを得ない

2. 家計貯蓄率低下はどうか

(1) 低下する家計貯蓄率

家計貯蓄

()

家計貯蓄率 = 家計貯蓄 / 家計可処分所得

家計貯蓄率の統計

国民経済計算 (SNA) ベースの家計貯蓄率

全世帯を対象

持ち家などの減価償却を控除した純概念で作成

持ち家の帰属家賃を考慮

(2) 家計貯蓄率低下の要因

短期的要因

ラチェット効果

テクニカルな要因 (2000年, 01年)

中期的要因

()

家計部門の金融資産の積み上げによる消費促進

社会保障負担などの非消費支出の増大

(3) 根強い家計の将来不安

(4) 家計貯蓄率の中期的見通し

日本の家計貯蓄率

下方トレンド

65歳以上人口比率や実質金融資産残高は、緩やかな上昇傾向

家計貯蓄率の下支え要因

家計の中長期的な「予備的貯蓄動機」

3. 変化する高齢者層の消費行動

(1) 上向き高齢層の消費性向

消費性向

家計可処分所得に占める消費支出の割合

(2) 高齢層の消費性向上の背景

高齢者の消費性向が最近上昇してきている理由

若年・中年層に比べある種の「ゆとり」

高齢層就業者の給料も賃金デフレの埒外にあるわけではない

(3) 団魂の世代引退の消費への影響

日本の総人口の減少に転じるのと同タイミングで「」の大量退職

キーワード

労働分配率 賃金デフレ 家計貯蓄率 人口高齢化 ライフサイクル仮説